

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 ティ・エス テック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7313 URL <http://www.tstech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古明地 利雄  
 問合せ先責任者 (役職名) CSR部広報課長 (氏名) 倉田 真秀 (TEL) 048(462)1121  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	179,035	44.3	10,995	—	11,605	—	7,019	—
24年3月期第2四半期	124,058	△32.2	△493	—	△54	—	△874	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,790百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △2,776百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	103.23	—
24年3月期第2四半期	△12.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	186,773	116,570	56.0	1,538.40
24年3月期	189,343	112,247	53.3	1,484.55

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 104,608百万円 24年3月期 100,946百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
25年3月期	—	14.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	356,500	16.7	20,500	118.1	21,500	96.8	12,000	154.6	176.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	68,000,000株	24年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,645株	24年3月期	1,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	67,998,355株	24年3月期2Q	67,998,368株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは、大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年10月30日開催予定の決算説明会にて使用する決算説明資料については、当社ホームページ (<http://www.tstech.co.jp>) の以下のURLにてご覧いただくことができます。

(IR資料) <http://www.tstech.co.jp/ir/index.html>

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における連結業績は、北米を中心とした自動車需要の回復を背景に、総じて順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,790億35百万円と前年同期に比べ549億76百万円（44.3%）の増収となりました。利益面では、増収効果や原価低減効果により、営業利益は109億95百万円と前年同期に比べ114億89百万円（前年同期は営業損失4億93百万円）の増益となりました。経常利益は116億5百万円と前年同期に比べ116億59百万円（前年同期は経常損失54百万円）の増益、四半期純利益は70億19百万円と前年同期に比べ78億93百万円（前年同期は四半期純損失8億74百万円）の増益となりました。

なお、セグメントごとの業績は次のとおりです。

(日本)

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	43,554	52,667	9,113	20.9%
営業利益	△1,134	3,334	4,468	－%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、主要客先の正常稼働による受注台数の回復により増収

営業利益 増収効果に加え、減価償却方法の変更等により増益

(米州)

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	45,284	80,726	35,442	78.3%
営業利益	△1,244	4,896	6,141	－%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、主要客先の正常稼働に加え、北米市場の需要回復を背景に受注台数が増加し増収

営業利益 受注の増加に伴う諸経費の増加はあるものの、増収効果により増益

(中国)

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	27,944	38,589	10,644	38.1%
営業利益	2,365	3,355	990	41.9%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、主要客先の正常稼働による受注台数の回復により増収

営業利益 開発費用の増加や人件費上昇影響等はあるものの、増収や原価改善効果により増益

(アジア・欧州) ※

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	17,169	20,988	3,818	22.2%
営業利益	1,435	1,414	△21	△1.5%

前期との主な増減理由

売上高 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、タイの洪水に伴う操業停止影響はあるものの、主要客先からの受注台数が増加したことにより増収

営業利益 増収効果はあるものの、タイの洪水に伴う諸費用の増加により減益

※平成24年4月1日より、「アジア・UK」のセグメントの名称を「アジア・欧州」に変更しました。

また、事業別の売上高については下記のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 累計期間		当第2四半期 累計期間		前期比増減額	前期比増減率
		構成比		構成比		
二輪事業	2,980	2.4%	3,058	1.7%	78	2.6%
四輪事業	119,407	96.3%	174,130	97.3%	54,722	45.8%
(シート)	104,199	84.0%	154,400	86.3%	50,201	48.2%
(内装品)	15,208	12.3%	19,729	11.0%	4,521	29.7%
その他事業	1,670	1.3%	1,846	1.0%	175	10.5%
合計	124,058	100.0%	179,035	100.0%	54,976	44.3%

前期との主な増減理由

二輪事業 インドにおいて主要客先からの受注台数の増加により増収

四輪事業 東日本大震災の影響を受けた前期に対し、北米を中心とした自動車需要回復を背景に、主要客先からの受注台数が増加し増収

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、1,867億73百万円と前連結会計年度末に比べ25億69百万円(1.4%)の減少となりました。流動資産については、1,276億69百万円と前連結会計年度末に比べ10億66百万円(0.8%)の増加となりました。これは、受取手形及び売掛金が10億16百万円減少したことに伴い、現金及び預金が12億66百万円増加したことに加え、流動資産のその他に含まれる未収法人税等が7億72百万円増加したことが主な要因です。固定資産については、591億4百万円と前連結会計年度末に比べ36億36百万円(5.8%)の減少となりました。これは、時価評価に伴う投資有価証券の減少等により、投資その他の資産が35億27百万円減少したことが主な要因です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、702億2百万円と前連結会計年度末に比べ68億93百万円(8.9%)の減少となりました。これは、増益に伴う資金繰りの改善等により、短期借入金が20億36百万円減少したことに加え、支払手形及び買掛金が16億80百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が24億60百万円それぞれ減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,165億70百万円と前連結会計年度末に比べ43億23百万円(3.9%)の増加となりました。これは、時価評価に伴う投資有価証券の減少により、その他有価証券評価差額金が19億61百万円減少したものの、利益剰余金が61億75百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替動向等を踏まえ、以下のとおり平成24年4月27日公表の連結業績予想を変更しています。

なお、為替レートは下期平均で1米ドル=78円、1人民元=12.3円を前提としています。

平成25年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	363,000	21,500	23,000	12,500	183 82
今回修正予想(B)	356,500	20,500	21,500	12,000	176 47
増減(B-A)	△6,500	△1,000	△1,500	△500	
増減率(%)	△1.8	△4.7	△6.5	△4.0	
(ご参考)前年実績 (平成24年3月期)	305,482	9,401	10,927	4,712	69 31

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

従来、当社及び国内連結子会社の減価償却方法は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法）を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より、定額法へ変更しました。

この変更は、効率的かつフレキシブルな生産体質改革を進めた結果、今後も中長期的に安定した資産の使用が見込まれることから、減価償却費を均等配分することがより適切であると判断したためです。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ420百万円増加しています。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,434	48,701
受取手形及び売掛金	52,416	51,400
商品及び製品	2,251	2,433
仕掛品	1,900	2,161
原材料及び貯蔵品	15,790	15,399
その他	6,831	7,593
貸倒引当金	△23	△20
流動資産合計	126,602	127,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,899	15,459
機械装置及び運搬具（純額）	11,451	11,098
その他（純額）	15,643	16,328
有形固定資産合計	42,994	42,886
無形固定資産	1,173	1,173
投資その他の資産	18,572	15,045
固定資産合計	62,740	59,104
資産合計	189,343	186,773
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,961	46,280
短期借入金	4,298	2,262
1年内返済予定の長期借入金	221	498
未払法人税等	933	1,190
引当金	2,009	2,083
その他	11,944	10,150
流動負債合計	67,368	62,465
固定負債		
長期借入金	2,486	1,983
引当金	681	695
その他	6,558	5,057
固定負債合計	9,727	7,736
負債合計	77,095	70,202



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	99,213	105,389
自己株式	△3	△3
株主資本合計	109,073	115,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,089	5,127
為替換算調整勘定	△15,216	△15,768
その他の包括利益累計額合計	△8,126	△10,640
少数株主持分	11,300	11,962
純資産合計	112,247	116,570
負債純資産合計	189,343	186,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	124,058	179,035
売上原価	114,267	155,918
売上総利益	9,791	23,116
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,138	1,773
給料及び手当	4,468	4,841
その他	4,678	5,506
販売費及び一般管理費合計	10,285	12,120
営業利益又は営業損失(△)	△493	10,995
営業外収益		
受取利息	435	425
受取配当金	157	156
受取地代家賃	107	105
持分法による投資利益	155	208
その他	144	166
営業外収益合計	1,000	1,063
営業外費用		
支払利息	111	100
為替差損	403	347
その他	46	6
営業外費用合計	561	454
経常利益又は経常損失(△)	△54	11,605
特別利益		
固定資産売却益	18	20
受取保険金	43	7
受取補償金	—	17
その他	0	4
特別利益合計	63	49
特別損失		
固定資産売却損	17	22
固定資産除却損	80	64
減損損失	—	7
災害による損失	40	366
その他	4	30
特別損失合計	142	491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△133	11,163
法人税、住民税及び事業税	△235	3,089
法人税等合計	△235	3,089
少数株主損益調整前四半期純利益	101	8,073
少数株主利益	975	1,054
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△874	7,019

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	101	8,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,915	△1,965
為替換算調整勘定	△989	△352
持分法適用会社に対する持分相当額	26	35
その他の包括利益合計	△2,878	△2,282
四半期包括利益	△2,776	5,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,653	4,505
少数株主に係る四半期包括利益	876	1,285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△133	11,163
減価償却費	4,292	3,555
減損損失	—	7
引当金の増減額(△は減少)	149	88
受取利息及び受取配当金	△592	△582
支払利息	111	100
持分法による投資損益(△は益)	△155	△208
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	2
有形固定資産除却損	80	64
受取保険金	△43	△7
受取補償金	—	△17
災害損失	40	366
売上債権の増減額(△は増加)	13,640	606
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,030	△381
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,884	△1,021
その他	△639	907
小計	4,834	14,643
利息及び配当金の受取額	589	606
利息の支払額	△111	△102
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,111	△4,387
保険金の受取額	43	270
補償金の受取額	—	17
災害損失の支払額	△152	△75
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,090	10,972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,299	△3,077
定期預金の払戻による収入	5,016	2,310
有形固定資産の取得による支出	△3,614	△4,110
有形固定資産の売却による収入	25	46
関係会社出資金の払込による支出	△1,158	—
その他	△169	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,200	△5,113
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,141	△2,082
配当金の支払額	△883	△815
少数株主への配当金の支払額	△2,154	△2,114
その他	△347	△408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,244	△5,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△285	434
現金及び現金同等物の期首残高	33,287	43,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,001	43,829

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	34,717	45,284	26,887	17,169	124,058	—	124,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,837	—	1,057	—	9,894	△9,894	—
計	43,554	45,284	27,944	17,169	133,953	△9,894	124,058
セグメント利益又は損失(△)	△1,134	△1,244	2,365	1,435	1,421	△1,915	△493

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,915百万円には、セグメント間取引消去227百万円、親会社の  
本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△1,878百万円を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行って  
います。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア・ 欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,794	80,726	36,530	20,984	179,035	—	179,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,873	—	2,058	3	13,936	△13,936	—
計	52,667	80,726	38,589	20,988	192,971	△13,936	179,035
セグメント利益	3,334	4,896	3,355	1,414	13,001	△2,005	10,995

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,005百万円には、セグメント間取引消去247百万円、親会社の本社管理部門  
にかかる配賦不能営業費用△2,046百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行って  
います。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結累計期間より、報告セグメントのうち「アジア・UK」の名称を「アジア・欧州」に変更しましたが、当該変更については、名称変更のみであり、報告セグメントの変更はありません。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称に基づき作成しています。
- (2) 「会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、従来、当社及び国内連結子会社の減価償却方法は定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）については、定額法）を採用していましたが、第1四半期連結累計期間より、定額法へ変更しました。当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益が420百万円増加しています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「米州」セグメントにおける遊休資産について、今後使用見込みがなく、売却が困難であるため、帳簿価額の全額を減額し、当該減少額を減損損失として、7百万円を特別損失に計上しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。